

西地域における遠隔高等教育のあり方についての意識、ニーズ、コメントなどの定性的なデータを収集する。

3 研究組織

●研究委員

在阪研究者より

麻生 誠 (座長：大阪大学教授・前人間科学部学部長)

塩原 勉 (大阪大学人間科学部学部長)

井上忠司 (甲南大学教授)

高田康孝 (愛知学泉大学教授)

端 信行 (国立民族学博物館助教授)

園田英弘 (国際日本文化研究センター助教授)

池田 寛 (大阪大学助教授)

放送大学より

小尾信弥 (放送大学副学長)

実施協力自治体より

山本敏秀 (大阪府教育委員会社会教育課主幹)

正田吉次 (池田市生涯学習大学事務局長、前池田市教育委員会教育次長)

小巖恕久 (尼崎市立中央公民館長)

●分析評価委員

高坂健次 (関西学院大学教授)

柳原佳子 (吉備国際大学助教授、元兵庫県家庭問題研究所主任研究員)

立木茂雄 (関西学院大学助教授)

●放送教育開発センター教官

若松 茂 (教授、研究主査)

山中速人 (助教授、研究代表者)

広瀬洋子 (助教授)

(敬称略)

B 有識者インタビューの目的と方法

1 有識者インタビューの目的

有識者インタビューの目的は、関西地域のオピニオンリーダーとして活躍している有識者から関西地区における生涯教育の今後のあり方さらに放送大学が果たす役割や望ましい姿について、まとまった意見を得ることにあった。

インタビュー対象者として、大学、社会教育、経済、文化、放送などの各界を中心として、従来から生涯教育や企業教育、社会教育などについて高い関心をお持ちのオピニオンリーダーから20人を研究委員会の討論と推薦にもとづいて選んだ。

ただし、関西地区では放送大学は現在開講されていないため、放送大学についての具体的知識は有識者といえどももっていないことが予想されるので、放送大学の現状についての評価を求めるのではなく、遠隔高等教育が関西地区ではたす役割や望ましい姿について、全体的な見地からの意見や考え方を聴取することに視点を定めるものとする。

ところで、有識者インタビューは、対象者から知的情報をできるだけ効果的に引き出すことが目標となるので、質問内容は、できるだけ対象者の自由な発想や活発な意見を引き出すように設定される。したがって、質問の形式は、自由質問形式をとる。質問内容は、一応、次の項で掲げるものとするが、これはあくまでガイドラインで、対象者の関心や発想の流れにそって適宜変化させることができるものとする。

なお、インタビュー対象者がすべて関西在住のため、インタビューは地元研究機関、株式会社エスシアイ（ＳＣＩ）に依頼された。面接調査者は以下のとおりである。

●面接調査者

西嶋 彰 （株）エスシアイ代表取締役）

上村達郎 （スリーアイズ企画（株）取締役）

2 インタビューの方法と内容

以下のような項目について、自由問答形式による面接調査をおこない、回答を得た。

- ① 日本社会は生涯学習の時代に入ったといわれますが、生涯学習のあり方について、基本的な考え方をお聞かせください。
- ② 関西圏における生涯学習に関連するさまざまな事業や施設として、現在、あなたが注目されている試みなどがありましたら、お聞かせください。また、それに注目されている理由は何でしょうか。
- ③ 今後、関西地区の生涯学習機会の拡大を進めるために、どのような努力が必要とお考えでしょうか。行政、企業、社会团体、市民それぞれについての課題をお聞かせください。
- ④ （放送大学に関する簡単な説明を資料を用いて行なった後）
これまで、放送大学については、どの程度、ご存じでしたでしょうか。
- ⑤ 放送大学は、現在、その受講範囲を全国に広げるよう計画を進めていますが、関西地区の生涯学習あるいは高等教育の発展のために、放送大学はどのような位置づけを受けるのが適当だとお考えですか。
- ⑥ そのために放送大学がはたすべき役割は何でしょうか。また、どのような機能が必要でしょうか。
- ⑦ 関西地区で放送大学を開講する場合、大学側が配慮する必要がある地域特性や条件にはどのようなものがあるでしょうか。

有識者へのインタビュー実施時期は、1989（平成元）年11月前後である。

3 インタビュー結果の報告形式

自由インタビューの特性を最大限に生かすため、インタビューはテープに録音され、本題と

あきらかに関連のない儀礼的会話などを除く以外、可能な限りそのまま文字化され報告書に収録された。

ただし、内容を把握する上で必要なインデックスとして、適宜「見出し」を付した。

また、最後に重要語に関する索引を用意した。

4 インタビュー調査対象者

井上 俊（大阪大学人間科学部教授）

岩見和彦（関西大学社会学部教授）

上杉孝實（京都大学教育学部教授）

亀田訓生（松下電器産業株式会社広報本部本社広報センター所長）

木津川計（立命館大学産業社会学部教授、『上方芸能』編集長）

木原勝彬（社団法人奈良まちづくりセンター理事長）

倉光弘己（大阪ガス株式会社理事、エネルギー・文化研究所所長）

佐野善之（サントリー文化財団専務理事）

末次攝子（ジャーナリスト、大阪府参与、高槻市文化振興事業団常務理事）

徳永洋一（ダイキン工業株式会社取締役副社長）

友永健三（社団法人部落解放研究所事務局長）

仲川利久（朝日放送株式会社テレビ編成局番組企画部長、プロデューサー）

ハル・ゴールド（フリーライター）

福田雅子（NHK大阪放送局制作部チーフディレクター）

三輪昌子（生活評論家）

元木 健（大阪大学人間科学部教授）

安盛壽一（株式会社大林組常務取締役）

山田照美（社団法人兵庫部落解放研究所所長、関西学院大学法学部教授）

山根淑子（ピッコロシアター館長）

領家 穰（社団法人兵庫部落解放研究所理事、関西学院大学社会学部教授）

以上20名（敬称略、アイウエオ順、所属役職は1989年の調査時点）